

教科	情報				
科目	情報Ⅰ	単位数	2	単位	履修年次 1 年次～
使用教科書	情報Ⅰ 図解と実習（日本文教出版）				
副教材等	ケーススタディ 情報モラル advance（第一学習社）				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

3 指導の重点

①必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を育成する。 ②情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解を深める。 ③社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成する。
--

4 学習計画

学期	単元名		教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	図解第1章 情報社会と私たち	ワー ー プ ロ ソ フ ト 実 習	教科書 副教材	身近な事例 情報社会を支える法律	4	授業の取り組み 実習作品 出席態度 定期考査
	実習編 1 オリエンテーション			中学校の復習 文字入力・ファイル操作	4	
	実習編 2 問題解決実習			ブレインストーミングとKJ法 アンケートと資料作成	8	
	図解第2章 コミュニケーション と情報デザイン			メディアの発達 情報を伝える手段	13	
	実習編3 情報デザイン実習			ポスターの研究 ポスターの企画と制作	4	
	実習編4 コンピュータ・サイエンス・ア プリケーション実習			文字を数であらわす 絵を数であらわす データの圧縮	2	
後期	図解第3章 コンピュータとプログラミング			アルゴリズムの構造 プログラムとプログラミング	9	
	実習編5 アルゴリズム実習			身近な手順をフローチャートで表 す	5	
	実習編6 プログラミング実習			Scratchでプログラミング	4	
	実習編7 モデル化とシミュレーション 実習			身近な題材でモデルを使っ たシミュレーション	3	
	図解第4章 情報通信ネットワークと データの活用	情報通信ネットワークやデータ通 信の仕組み	4			
	実習編 8 ネットワーク実習	家庭内LANを設計する	2			
	実習編 9 データベース実習	データベースの操作を体験す る	2			
	実習編 10 データ活用実習	数値データを分析する	6			
				計	70	(50分授業)

5 課題・提出物等

実習作品・プリント

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 考査の「知識・技能」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 考査の「思考・判断・表現」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 提出物の内容や振り返りシート・授業中の発言が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

8 担当者からの一言

携帯電話やパソコン、インターネットは今や私たちの生活に欠かせないものになっています。しかし、便利な面がある一方、迷惑メール、著作権の侵害など、情報機器やネットワークにまつわるトラブルや犯罪も多く起こっています。そのような被害に遭わないために、事例に触れながら情報モラルの勉強もしていきます。
